

# 2020年3月期 決算補足説明資料

2020年4月30日

南海電気鉄道株式会社

(東証1部 9044 <http://www.nankai.co.jp/>)

I . 2020年3月期 決算概要 .....	P. 2
1 . 業績ハイライト .....	P. 3
2 . セグメント別の状況 .....	P. 5
3 . 営業外・特別損益の状況 .....	P. 16
4 . 資産、負債及び純資産の状況 .....	P. 17
5 . キャッシュ・フローの状況 .....	P. 18
6 . 投資額・E B I T D A (セグメント別)	P. 19
(参考) 新型コロナウイルス感染拡大の影響	P. 20
II . 2021年3月期 業績予想 .....	P. 21

# I. 2020年3月期 決算概要

# 1. 業績ハイライト①

(単位：百万円・%)

	2019年3月期 実績 (A)	2020年3月期 実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率	2020年3月期 前回予想 (C) (2019年10月公表)	増減額 (B-C)	増減率
営業収益	227,424	<b>228,015</b>	591	0.3	237,500	△ 9,484	△ 4.0
営業利益	27,745	<b>35,223</b>	7,477	27.0	36,000	△ 776	△ 2.2
営業外収益	1,433	<b>1,462</b>	28	2.0			
営業外費用	5,281	<b>5,009</b>	△ 271	△ 5.1			
経常利益	23,898	<b>31,677</b>	7,778	32.5	32,500	△ 822	△ 2.5
特別利益	5,383	<b>3,000</b>	△ 2,382	△ 44.3			
特別損失	13,758	<b>4,150</b>	△ 9,608	△ 69.8			
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,023	<b>20,811</b>	7,788	59.8	21,200	△ 388	△ 1.8

<主な増減理由等：前期比>

新型コロナウイルス感染拡大の影響があったものの、不動産業において、なんばスカイオが通年で寄与したことや、マンション販売が増加したことにより増収、前期に住宅開発事業等の見直しに伴う販売用不動産評価損を計上した反動により増益

<主な増減理由等：前回予想比>

新型コロナウイルス感染拡大の影響や、建設業における完成工事高の減少により減収減益

# 1. 業績ハイライト②

(単位：百万円・%)

	2019年3月期 実績 (A)	2020年3月期 実績 (B)	増減額 (B-A)	増減率	2020年3月期 前回予想 (C) (2019年10月公表)	増減額 (B-C)	増減率
投資額	43,538	<b>47,917</b>	4,379	10.1	58,200	△ 10,282	△ 17.7
減価償却費	27,440	<b>28,786</b>	1,345	4.9	29,300	△ 513	△ 1.8
EBITDA <sup>※</sup>	56,143	<b>64,976</b>	8,833	15.7	66,300	△ 1,323	△ 2.0
有利子負債残高	478,653	<b>467,953</b>	△ 10,699	△ 2.2	475,700	△ 7,746	△ 1.6
有利子負債残高 ／ EBITDA <sup>※</sup> 倍率	8.5倍	<b>7.2倍</b>	△ 1.3pt	-	7.2倍	-	-

<主な増減理由等：前期比>

投資額 成長投資（難波御堂筋センタービルの取得ほか）の増加等  
 減価償却費 2018年10月のなんばスカイオ開業等による増加  
 有利子負債残高 EBITDAの増加等による減少

<主な増減理由等：前回予想比>

投資額 沿線各施設における工事費の減少等

※ 営業利益 + 受取配当金 + 減価償却費

## 2. セグメントの構成状況 (2020年3月末現在)

【連結子会社54社・非連結子会社13社・関連会社6社 (うち持分法適用会社1社)】

増減 (対 2019年3月末現在)

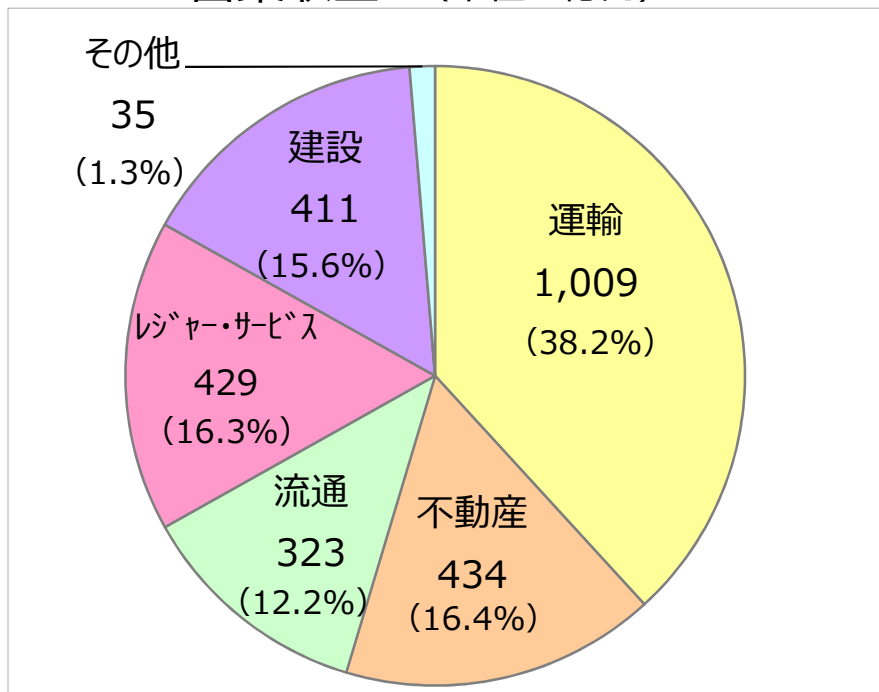
連結子会社の減少 1社 : 御坊南海バス株式会社 (グループ内合併)

持分法非適用関連会社の減少 1社 : PT. NISSENKEN INDONESIA (清算終了)

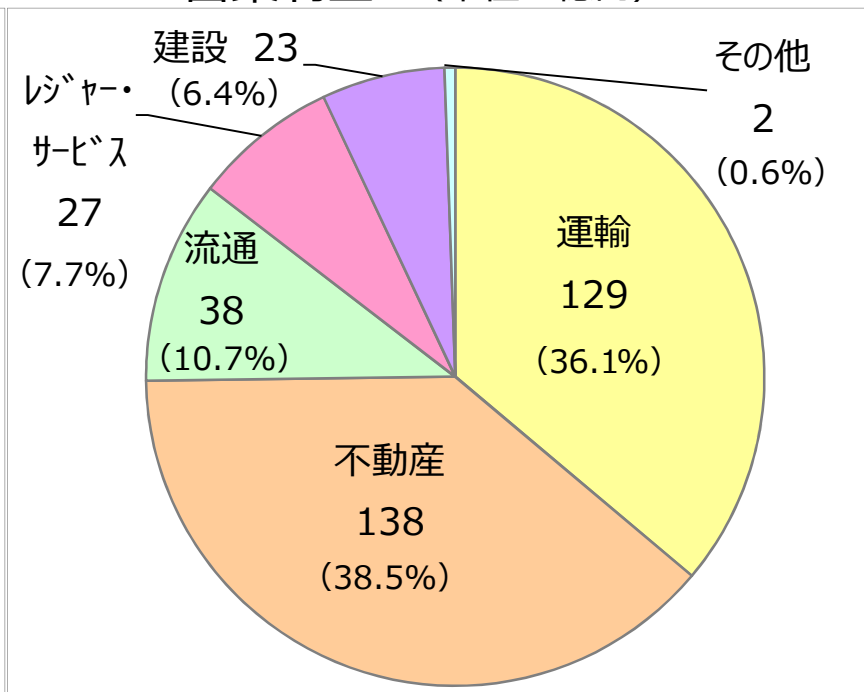


※当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

営業収益 (単位: 億円)



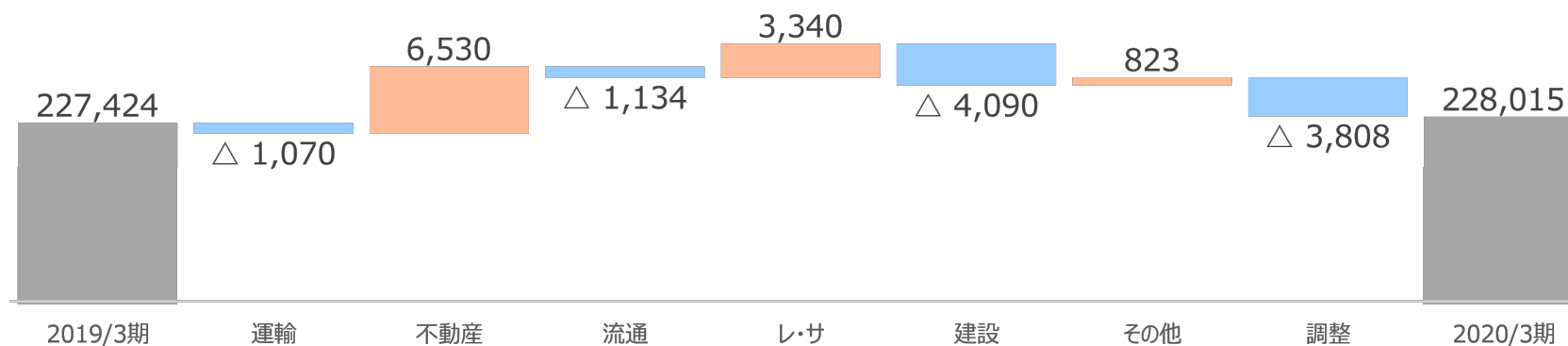
営業利益 (単位: 億円)



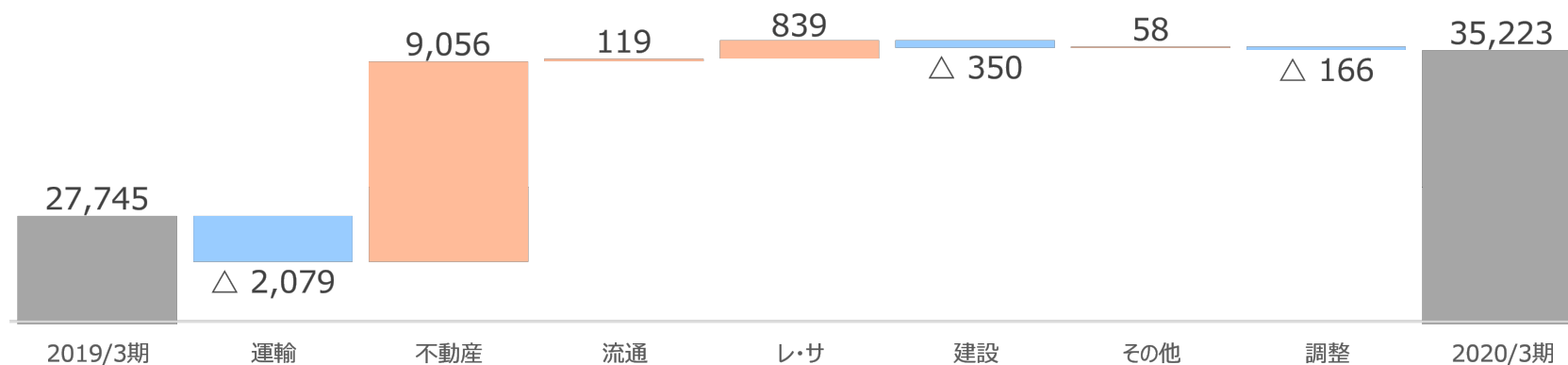
## 2. セグメント別営業収益・営業利益（対 前期比較）

（単位：百万円）

### ① 営業収益の増減額



### ② 営業利益の増減額



## 2. セグメント別営業収益・営業利益（対 前期比較）

（単位：百万円・％）

	営業収益				営業利益			
	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	増減額	増減率	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	増減額	増減率
運 輸 業	102,051	<b>100,980</b>	△ 1,070	△ 1.0	15,033	<b>12,953</b>	△ 2,079	△ 13.8
不 動 産 業	36,956	<b>43,486</b>	6,530	17.7	4,776	<b>13,832</b>	9,056	189.6
流 通 業	33,482	<b>32,348</b>	△ 1,134	△ 3.4	3,715	<b>3,835</b>	119	3.2
レジャー・サービス業	39,640	<b>42,981</b>	3,340	8.4	1,922	<b>2,762</b>	839	43.7
建 設 業	45,201	<b>41,111</b>	△ 4,090	△ 9.0	2,655	<b>2,304</b>	△ 350	△ 13.2
そ の 他 の 事 業	2,680	<b>3,503</b>	823	30.7	153	<b>212</b>	58	37.9
調 整 額	△ 32,587	△ <b>36,396</b>	－	－	△ 511	△ <b>677</b>	－	－
合 計	227,424	<b>228,015</b>	591	0.3	27,745	<b>35,223</b>	7,477	27.0



## 2. セグメント別営業収益・営業利益（対 前回予想比較）

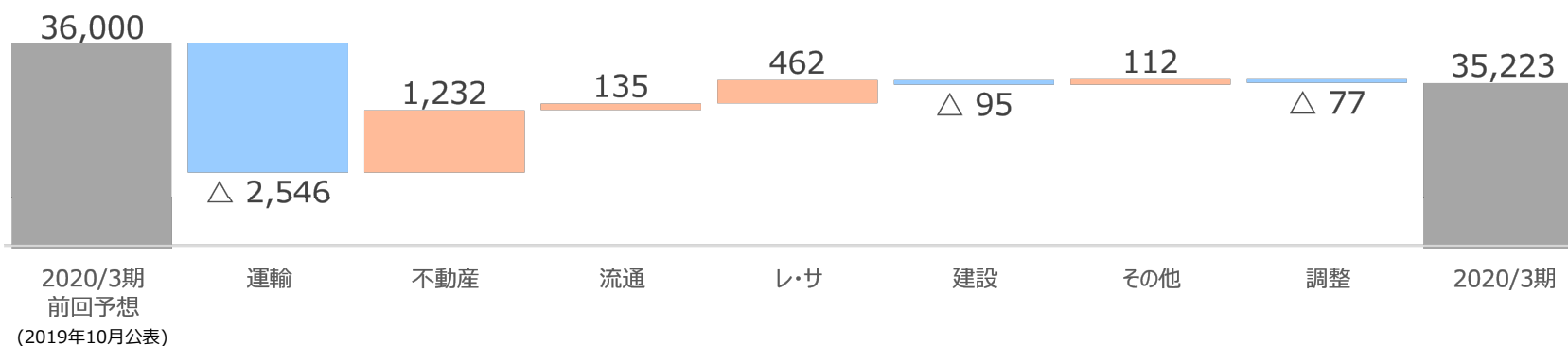
8

（単位：百万円）

### ① 営業収益の増減額



### ② 営業利益の増減額



## 2. セグメント別営業収益・営業利益（対 前回予想比較）

（単位：百万円・％）

	営業収益				営業利益			
	2020年 3月期 前回予想 (2019年10月公表)	2020年 3月期 実績	増減額	増減率	2020年 3月期 前回予想 (2019年10月公表)	2020年 3月期 実績	増減額	増減率
運 輸 業	104,600	<b>100,980</b>	△ 3,619	△ 3.5	15,500	<b>12,953</b>	△ 2,546	△ 16.4
不 動 産 業	43,800	<b>43,486</b>	△ 313	△ 0.7	12,600	<b>13,832</b>	1,232	9.8
流 通 業	33,200	<b>32,348</b>	△ 851	△ 2.6	3,700	<b>3,835</b>	135	3.7
レジャー・サービス業	42,600	<b>42,981</b>	381	0.9	2,300	<b>2,762</b>	462	20.1
建 設 業	43,700	<b>41,111</b>	△ 2,588	△ 5.9	2,400	<b>2,304</b>	△ 95	△ 4.0
そ の 他 の 事 業	3,500	<b>3,503</b>	3	0.1	100	<b>212</b>	112	112.1
調 整 額	△ 33,900	△ <b>36,396</b>	-	-	△ 600	△ <b>677</b>	-	-
合 計	237,500	<b>228,015</b>	△ 9,484	△ 4.0	36,000	<b>35,223</b>	△ 776	△ 2.2

## 2. セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円・％）

運輸業		2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額	増減率
鉄	道 事 業	69,123	<b>68,439</b>	△ 683	△ 1.0
バ	ス 事 業	27,347	<b>27,001</b>	△ 346	△ 1.3
そ の 他 の 運 輸 業		12,870	<b>12,875</b>	5	0.0
調 整 額 （ セ グ メ ン ト 内 ）		△ 7,290	△ <b>7,336</b>	—	—
営 業 収 益		102,051	<b>100,980</b>	△ 1,070	△ 1.0
営 業 利 益		15,033	<b>12,953</b>	△ 2,079	△ 13.8
主 な 内 訳	鉄 道 事 業	11,580	<b>10,365</b>	△ 1,215	△ 10.5
	バ ス 事 業	2,921	<b>2,532</b>	△ 389	△ 13.3

（主な増減理由）

- ・鉄道事業は、前期の台風影響の反動等があったものの新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収となったほか、減価償却費の増加もあり減益
- ・バス事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収減益

## 2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表（個別）

(単位：百万円・千人・%)

全線			2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	35,918	<b>35,073</b>	△ 845	△ 2.4
	定期	期	22,526	<b>22,562</b>	35	0.2
	合計	計	58,445	<b>57,636</b>	△ 809	△ 1.4
輸送人員	定期	外	98,886	<b>97,774</b>	△ 1,112	△ 1.1
	定期	期	140,949	<b>141,680</b>	731	0.5
	合計	計	239,835	<b>239,454</b>	△ 381	△ 0.2

(単位：百万円・千人・%)

空港線			2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	9,046	<b>8,570</b>	△ 475	△ 5.3
	定期	期	1,448	<b>1,546</b>	98	6.8
	合計	計	10,494	<b>10,117</b>	△ 376	△ 3.6
輸送人員	定期	外	11,075	<b>10,695</b>	△ 380	△ 3.4
	定期	期	4,506	<b>4,892</b>	386	8.6
	合計	計	15,581	<b>15,587</b>	6	0.0

## 2. セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円・％）

不動産業		2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額	増減率
不	不動産賃貸業	27,526	<b>31,056</b>	3,530	12.8
不	不動産販売業	10,309	<b>12,855</b>	2,546	24.7
調整額（セグメント内）		△ 879	△ <b>426</b>	－	－
営業収益		36,956	<b>43,486</b>	6,530	17.7
営業利益		4,776	<b>13,832</b>	9,056	189.6
主な 内 訳	不動産賃貸業	10,937	<b>13,122</b>	2,185	20.0
	不動産販売業	△ 5,851	<b>982</b>	6,834	－

（主な増減理由）

- ・不動産賃貸業は、なんばスカイオが通年で寄与したことにより増収増益
- ・不動産販売業は、大口のマンション販売（プレミスト大津ステーションレジデンス他）により増収、前期に住宅開発事業等の見直しに伴う販売用不動産評価損を計上した反動もあり増益

## 2. セグメント情報（流通業）

（単位：百万円・%）

流通業	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額	増減率	
ショッピングセンターの経営	15,085	<b>14,944</b>	△ 141	△ 0.9	
駅ビジネス事業	19,620	<b>19,167</b>	△ 453	△ 2.3	
その他の流通業	1,513	<b>879</b>	△ 634	△ 41.9	
調整額（セグメント内）	△ 2,737	△ <b>2,642</b>	—	—	
営業収益	33,482	<b>32,348</b>	△ 1,134	△ 3.4	
営業利益	3,715	<b>3,835</b>	119	3.2	
主な内訳	ショッピングセンターの経営	2,466	<b>2,706</b>	240	9.7
	駅ビジネス事業	1,221	<b>1,121</b>	△ 99	△ 8.2

（主な増減理由）

- ・ショッピングセンターの経営は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収となったものの、減価償却費の減少や前期にリニューアル関連費用を計上した反動により増益
- ・駅ビジネス事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収減益

## 2. セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円・%）

レジャー・サービス業	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額	増減率
ビル管理メンテナンス業	25,078	<b>27,592</b>	2,514	10.0
その他のレジャー・サービス業	16,774	<b>17,713</b>	938	5.6
調整額（セグメント内）	△ 2,212	△ <b>2,324</b>	—	—
営業収益	39,640	<b>42,981</b>	3,340	8.4
営業利益	1,922	<b>2,762</b>	839	43.7
主な内訳ビル管理メンテナンス業	1,085	<b>1,369</b>	284	26.2

（主な増減理由）

- ・ビル管理メンテナンス業は、設備工事収入の増加やなんばスカイオの施設管理業務の増加により増収増益
- ・その他のレジャー・サービス業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響があったものの、ホテル中の島のリブランドオープン、葬祭事業で葬儀件数の増加、遊園事業で入園者数の増加により増収増益

## 2. セグメント情報（建設業 / その他の事業）

（単位：百万円・％）

建設業	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額	増減率
建設業	45,244	<b>41,154</b>	△ 4,090	△ 9.0
調整額（セグメント内）	△ 43	△ <b>43</b>	—	—
営業収益	45,201	<b>41,111</b>	△ 4,090	△ 9.0
営業利益	2,655	<b>2,304</b>	△ 350	△ 13.2

（主な増減理由）完成工事高の減少により減収減益

（単位：百万円・％）

その他の事業	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額	増減率
その他の事業	2,687	<b>3,508</b>	820	30.5
調整額（セグメント内）	△ 6	△ <b>4</b>	—	—
営業収益	2,680	<b>3,503</b>	823	30.7
営業利益	153	<b>212</b>	58	37.9

（主な増減理由）システム開発収入の増加等により増収増益



### 3. 営業外・特別損益の状況

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額
営業外収益	1,433	<b>1,462</b>	28
受取利息	27	<b>26</b>	△ 1
受取配当金	956	<b>966</b>	9
営業外費用	5,281	<b>5,009</b>	△ 271
支払利息	4,598	<b>4,311</b>	△ 287
特別利益	5,383	<b>3,000</b>	△ 2,382
工事負担金等受入額	2,985	<b>1,329</b>	△ 1,655
受取保険金	1,040	<b>773</b>	△ 267
特別損失	13,758	<b>4,150</b>	△ 9,608
工事負担金等圧縮額	1,226	<b>1,277</b>	51
減損損失	5,560	<b>403</b>	△ 5,156
訴訟損失引当金繰入額	2,664	—	△ 2,664
災害による損失	1,243	—	△ 1,243

## 4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2019年3月末	2020年3月末	増減額	主な増減理由
流動資産	80,856	<b>73,221</b>	△ 7,635	●流動資産 ・有価証券（譲渡性預金）や受取手形及び売掛金の減少
固定資産	837,528	<b>851,836</b>	14,308	●固定資産 ・「難波御堂筋センタービル」取得等による有形固定資産の増加
資産合計	918,385	<b>925,058</b>	6,672	●負債 ・有利子負債残高の減少 △106億円 当期末残高 4,679億円 前期末残高 4,786億円
負債合計	676,823	<b>669,054</b>	△ 7,769	●純資産 ・親会社株主に帰属する当期純利益 +208億円 ・配当金支払 △34億円
純資産	241,561	<b>256,003</b>	14,442	
負債純資産合計	918,385	<b>925,058</b>	6,672	

## 5. キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	38,729	<b>58,935</b>	20,205	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 営業活動によるキャッシュ・フロー</li> <li>・税金等調整前当期純利益 +150億円</li> <li>・売上債権の増減額 +134億円</li> <li>・未払消費税等の増減額 +72億円</li> <li>・たな卸資産評価損 △62億円</li> <li>・減損損失 △51億円</li> <li>・たな卸資産の増減額 △39億円</li> </ul>
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 45,219	△ <b>48,915</b>	△ 3,696	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 投資活動によるキャッシュ・フロー</li> <li>・工事負担金等受入による収入 △43億円</li> <li>・固定資産の売却による収入 +8億円</li> </ul>
財務活動による キャッシュ・フロー	8,632	△ <b>14,853</b>	△ 23,485	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 財務活動によるキャッシュ・フロー</li> <li>・有利子負債増減額 △233億円</li> <li>○ 当期</li> <li>  社債 △100億円</li> <li>  借入金 △56億円</li> <li>  コマーシャル・ペーパー +50億円</li> <li>○ 前期</li> <li>  社債 +198億円</li> <li>  借入金 △12億円</li> <li>  コマーシャル・ペーパー △60億円</li> </ul>
現金及び現金 同等物の期末残高	21,864	<b>17,030</b>	△ 4,833	

## 6. 投資額・EBITDA（セグメント別）

（単位：百万円）

	投資額			EBITDA <sup>※1</sup>		
	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	増減額
運 輸 業	15,307	<b>20,928</b>	5,620	30,120	<b>28,928</b>	△ 1,191
不 動 産 業	24,028	<b>22,682</b>	△ 1,345	11,503	<b>21,260</b>	9,756
流 通 業	1,786	<b>2,515</b>	728	8,352	<b>8,221</b>	△ 130
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス 業	2,288	<b>1,650</b>	△ 637	3,506	<b>4,419</b>	913
建 設 業	113	<b>117</b>	3	2,830	<b>2,459</b>	△ 370
そ の 他 の 事 業	13	<b>23</b>	9	168	<b>226</b>	58
調 整 額	—	—	—	※2 △ 339	※2 △ <b>540</b>	—
合 計	43,538	<b>47,917</b>	4,379	56,143	<b>64,976</b>	8,833

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

# (参考) 新型コロナウイルス感染拡大の影響

## 業績への影響

新型コロナウイルスの感染拡大により、インバウンド需要の消失や外出自粛による鉄道事業での輸送人員の減少等、多方面に影響が発生しております。なお、各セグメント実績に含まれる影響額は以下の通りです。

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績		
	営業収益	営業利益	主な内訳
運 輸 業	△2,910	△2,756	(営業収益) 鉄道 △1,958 バス △812 (営業利益) 鉄道 △1,919 バス △693
不 動 産 業	△131	△116	(営業収益) 不動産賃貸 △131 (営業利益) 不動産賃貸 △116
流 通 業	△606	△217	(営業収益) 駅ビジネス △436 S C △169 (営業利益) 駅ビジネス △82 S C △134
レジャー・サービス業	△418	△250	(営業収益) ボートレース施設賃貸 △220 旅行△124 (営業利益) ボートレース施設賃貸 △110 旅行△92
合 計	△4,067	△3,341	

### 新型コロナウイルス感染拡大の影響

新型コロナウイルスの感染拡大により、インバウンド需要の消失や外出自粛による鉄道事業での輸送人員の減少、緊急事態宣言の発令に伴う商業施設の臨時休業など、当社グループの事業は大きな影響を受けている上、感染の収束時期についても非常に不透明な状況にあります。

このため現段階では、新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期の業績予想を未定とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の収束に関する見通しがつき、業績への影響が合理的に予測することが可能となった時点で速やかに公表いたします。

なお、現時点における主な事業の状況は以下の通りです。

#### (鉄道)

- 主要駅 定期外 乗降人員 対前年同期 (4/1～4/20) 速報  
(既設線) 難波駅▲72%、新今宮駅▲68%、天下茶屋駅▲56%  
(空港線) 関西空港駅▲87%、りんくうタウン駅▲73%
- 特急「ラピート」一部列車および観光列車「天空」全列車の運休 (4/24～当面の間)

#### (商業施設)

- なんばCITY、なんばパークス、なんばスカイオの臨時休館 (4/8～当面の間)